

製品安全データシート (SDS)

作成日 2023/5/17

1：物質 混合物および企業 情報

1-1 製品名	エバークリア510 1:1, 成分A		
	英名	Everclear 510 1 : 1 Component A	
製品番号	11475, 11452_A, 11482		
用途	ポリウレタンシーラント、接着剤		
1-2 製造業者/供給者情報			
製造元/供給元	AKEMI chemisch technische Spezialfabrik GmbH		
製造元住所	Lechstrasse D 90451 Nurnberg deuchland		
TEL	+44(171)635-9191	+49(0)911-64296-59	
製造担当部門	AKEMI Laboratory		
1-3 提供者情報			
輸入元/総販売元	藤栄株式会社		
住所	〒 587 0944 大阪府東大阪市若江西新町 4-5-25		
担当部署	貿易部		
T E L	06-6725-5236		
F A X	06-6725-3366		

2：危険有害性の要約

2-1 物質/混合物の分類	
・ Skin Sens 1 H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
・ Aquatic Chronic 3 H412	長期的影響により水生生物に有害

GHS分類

健康に対する有害性：	皮膚アレルギー反応を起こすおそれ
環境有害性：	水生環境有害性 長期（慢性）

2-2 ラベル要素

- 危険標識



- 注意喚起語 警告

- 危険成分

Tetraethyl-N,N'-(methylenedicyclohexane-4,1-diyl)bis-DL-aspartate poly(oxy-1,2-ethanediyl)
 Poly(oxy-1,2-ethanediyl) α -[3-[3-(2H-benzotriazol-2-yl)-5-(1,1-dimethylethyl)-4-hydroxyphenyl]-1-oxopropyl]- ω -[3-[3-(2H-benzotriazol-2-yl)-5-(1,1-dimethylethyl)-4-hydroxyphenyl]-1-oxopropoxy]-Reaction mass of bis
 (1,2,2,6,6-Pentamethyl-piperidyl)sebacate and methyl1,2,2,6,6-pentamethyl-4-piperidyl sebacate

- 注意書き

一般的注意

- P101 医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルを持っていくこと。
 P102 子供の手の届かない所に置くこと。
 P103 使用前にラベルをよく読むこと。

安全対策

- P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入を避けること。
 P273 環境への放出を避けること。
 P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

- P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
 P305+P351+P338
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。
 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
 その後も洗浄を続けること。
 P333+P313 皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。


廃棄






- P501 内容物/容器を国/都道府県/市町村の規制に従って廃棄すること。

3：組成および成分情報

3-1 化学物質・混合物の区別： 混合物

- 説明：無害な添加物とともに以下に列挙する物質の混合物。

tetraethyl-N,N'-(methylenedi cyclohexyl-4,1-diyl)bis-DL-aspartate	含有量	50~100%
CAS：136210-30-5	 Skin Sens.1	H317
EINECS：429-270-1	Aquatic Chronic 3	H412
インデックス番号：607-521-00-8		
登録番号：01-0000017556-64-0000		

フマル酸ジメチル(diethyl fumarate)	含有量	1 ~ 5%
CAS : 623-91-6	 Acute Tox.4	H302
EINECS : 201-819-7	Skin Irrit.2	H315
	Skin Senx.1	H317
	STOT SE 3	H335
poly(oxy-1,2-ethanediyl),a-[3-[3-(2H-benzotriazol-2-yl)-5-(1,1-dimethylethyl)-4-hydroxyphenyl]-1-oxopropyl]-ω-[3-[3-(2H-benzotriazol-2-yl)-5-(1,1-dimethylethyl)-4-hydroxyphenyl]-1-oxopropoxy]-	含有量	1 ~ 5%
CAS : 104810-47-1	 Aquatic Chronic 2	H411
EINECS : 400-830-7	 Skin Sens.1	H317
インデックス番号 : 607-176-00-3		
登録番号 : 01-2119396032-43		
Reaction mass of bis(1,2,2,6,6-Pentamethyl-piperidyl)sebacate and methyl 1,2,2,6,6-pentamethyl-4-piperidyl sebacate	含有量	1 ~ 5%
CAS : 1065336-91-5	Repr.2	H361f
EC番号 : 915-687-0	 Aquatic Acute 1	H400
登録番号 : 01-2119491304-40	 Aquatic Chronic 1	H410
	Skin Sens.1	H317

・ 追加情報：記載された危険指示はセクション16を参照のこと。

4：応急処置

4-1 応急処置の説明

・ 飲み込んだ場合

具合の悪くなった人を新鮮な空気の中へ連れて行き、必ず医師の診断を仰ぐ。
意識が無い場合は横向きで安定させて搬送する。

・ 皮膚に付着した場合

直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎ、皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。
多量の水と石鹸で洗うこと。

・ 眼に入った場合

流水で数分間注意深く洗浄すること。
症状が続く場合は、医師の診断を仰ぐこと。

・ 飲み込んだ場合

直ちに医師に連絡すること。

4-2 急性症状および遅発性症状の最も重要な症状

関連情報はない。

4-3 医師の手当てと特別な処置が直ちに必要となる状態

関連情報はない。

5：火災時の措置

5-1 消火剤

- ・ 適切な消火剤

泡消火剤、粉末消火剤、ウォーターズプレーを使用する。

大規模な火災の場合はウォーターズプレーもしくは対アルコール泡消火剤。

- ・ 使ってはならない消火剤

フルジェット水

5-2 物質または混合物に起因する特別な危険性

加熱中または火災の際、有毒ガスが発生するおそれがある。

以下のものが放出される。

一酸化炭素 (CO)

窒素酸化物 (NOx)

シアン化水素 (HCN)

5-3 消防士へのアドバイス

消火作業の際は、空気呼吸器を含め防護服（耐熱性）を着用する。

爆発ガス、燃焼ガスを吸い込まないようにする。

規定に従って火災の残骸と汚染された消火水を処分する。

消火水は別で回収し、下水道に入り込まないようにする。

6：漏出時の措置

6-1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

漏洩場所を換気する。

漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。

作業者は適切な保護具（「8.暴露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、

眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

6-2 環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。

河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。

水路または下水道に浸透した場合は、関係局に通知する。

6-3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

危険でなければ漏れを止める。

少量の場合は、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆っていて密着できる空容器に回収する。

大量の場合は、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。

6-4 二次災害の防止策

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

床面に残ると滑る危険性があるため、こまめに処理する。

7：取り扱いおよび保管上の注意

7-1 取扱い

- ・ 技術的対策
換気の良い場所で作業する。
- ・ 安全取扱注意事項
換気の良い場所で取り扱うこと。
眼、皮膚又は衣類に付けないこと。
取扱い後は良く手を洗いうがいをする事。
火気注意。
- ・ 衛生対策
取扱い後はよく手を洗うこと。

7-2 保管

- ・ 安全な保管条件
日光から遮断すること。
容器を密閉して保管すること。
施錠して保管する。
- ・ 安全な容器包装材料
包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。
消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8：曝露防止及び保護措置

8-1 管理指標

- ・ 作業場で監視が必要な制限値のある成分： この商品は監視が必要とされる成分を含まない。

- ・ DNELs（管理濃度）： 推定無影響レベル

136210-30-5 tetraethyl-N,N'-(methylenedi cyclohexyl-4,1-diyl)bis-DL-aspartate

口腔	DNEL(短期)	1.4 mg / kg 体重 / 日 (BEV)
	DNEL(長期)	4 mg / kg 体重 / 日 (ARB)
皮膚	DNEL(短期)	1.4 mg / kg 体重 / 日 (BEV)
	DNEL(長期)	4 mg / kg 体重 / 日 (ARB)
吸入		1.4 mg / kg 体重 / 日 (BEV)
	DNEL(短期)	112 mg / m ³ / 空気 (ARB)
		4.8 mg / m ³ 空気 (BEV)
	DNEL(長期)	28 mg / m ³ 空気 (ARB)
		4.8 mg / m ³ 空気 (BEV)

104810-47-1 poly(oxy-1,2-ethanediyl),a-[3-[3-(2H-benzotriazol-2-yl)-5-(1,1-dimethylethyl)-4-hydroxyphenyl]-1-oxopropyl]-ω-[3-[3-(2H-benzotriazol-2-yl)-5-(1,1-dimethylethyl)-4-hydroxyphenyl]-1-oxopropoxy]-		
口腔	DNEL(長期)	0.025 mg / kg 体重 / 日 (BEV)
皮膚	DNEL(長期)	0.5 mg / kg 体重 / 日 (ARB)
		0.25 mg / kg 体重 / 日 (BEV)
吸入	DNEL(長期)	0.35 mg / m ³ / 空氣 (ARB)
		0.085 mg / m ³ 空氣 (BEV)
1065336-91-5 Reaction mass of bis(1,2,2,6,6-Pentamethyl-piperidyl)sebacate and methyl 1,2,2,6,6-pentamethyl-4-piperidyl sebacate		
口腔	DNEL(短期)	1.25 mg / kg 体重 / 日 (BEV)
	DNEL(長期)	0.18 mg / kg 体重 / 日 (BEV)
皮膚	DNEL(短期)	2.5 mg / kg 体重 / 日 (ARB)
		1.25 mg / kg 体重 / 日 (BEV)
吸入	DNEL(長期)	1.8 mg / kg 体重 / 日 (ARB)
		0.9 mg / kg 体重 / 日 (BEV)
	DNEL(短期)	2.35 mg / m ³ / 空氣 (ARB)
		0.58 mg / m ³ 空氣 (BEV)
	DNEL(長期)	1.27 mg / m ³ / 空氣 (ARB)
		0.31 mg / m ³ 空氣 (BEV)
• PNEC _s (許容濃度) : 予測無影響濃度		
136210-30-5 tetraethyl-N,N'-(methylenedi cyclohexyl-4,1-diyl)bis-DL-aspartate		
PNEC(水性)		31.1 mg / l (KA) 0.000013 mg / l (MW) 0.00013 mg / l (SW)
PNEC(固形)		0.1 mg / kg 乾燥(BO) 0.02 mg / kg 乾燥(MWS) 0.21 mg / kg 乾燥(SWS)
104810-47-1 poly(oxy-1,2-ethanediyl),a-[3-[3-(2H-benzotriazol-2-yl)-5-(1,1-dimethylethyl)-4-hydroxyphenyl]-1-oxopropyl]-ω-[3-[3-(2H-benzotriazol-2-yl)-5-(1,1-dimethylethyl)-4-hydroxyphenyl]-1-oxopropoxy]-		
PNEC(水性)		10 mg / l (KA) 0.00023 mg / l (MW) 0.0023 mg / l (SW) 0.028 mg / l (WAS)

PNEC(固形)	2 mg / kg 乾燥(BO) 0.306 mg / kg 乾燥(MWS) 3.06 mg / kg 乾燥(SWS)
1065336-91-5 Reaction mass of bis(1,2,2,6,6-Pentamethyl-piperidyl)sebacate and methyl 1,2,2,6,6-pentamethyl-4-piperidyl sebacate	
PNEC(水性)	1 mg / l (KA) 0.00022 mg / l (MW) 0.0022 mg / l (SW) 0.009 mg / l (WAS)
PNEC(固形)	0.21 mg / kg 乾燥(BO) 0.11 mg / kg 乾燥(MWS) 1.05 mg / kg 乾燥(SWS)

8-2 保護具

8-2 ばく露防止

- 一般的な保護対策・衛生対策

作業中は飲食、喫煙を避ける。肌の保護のため、スキนครリーム等を使用する。

作業後は肌を洗浄する。汚染された衣類は直ちに取り除く。

食品や飲料の近くに置かない。休憩時や作業後は手を洗浄する。

ガスや埃を吸い込まないようにする。目や肌に触れるのを避ける。

- 呼吸用保護具

防毒マスクを使用すること。

- 手の保護具

保護手袋を着用すること。スキン保護クリームを使用する。

対応する手袋の仕様： フッ素ゴム製, ニトリルゴム製

使用不可の手袋の仕様： 天然ゴム、クロロプレンゴム、皮手袋

- 眼の保護具

密閉型のゴーグルを使用のこと。

- 皮膚及び身体の保護具

長袖作業衣、必要に応じて保護服及び保護長靴を着用する。

- 衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗う。

使用の際は、飲食/喫煙をしてはならない。

9：物質的及び化学的性質

9-1 基本的な物理化学的特性についての情報

・ 一般情報	
・ 外観	形： 液状 色： 無色
・ 臭い	わずかに特徴的
・ 臭気限界	未定
・ pH-値	未定
・ 状態の変化	融点／硬化点： 未定 沸点／沸点範囲： 未定
・ 引火点	適応なし
・ 燃焼性（固体、ガス）	適応なし
・ 分解温度	未定
・ 自動発火温度	製品は自動点火しない。
・ 爆発性	製品は爆発の危険はない。SADT 50°C
・ 爆発限界	下限： 未定 上限： 未定
・ 蒸気圧	未定
・ 20°Cでの密度	1.1g / cm ³
・ 相対密度	未定
・ 蒸気密度	未定
・ 蒸発率	未定
・ 水への溶解性／混和性	混和性はなく、溶解しにくい。
・ 分配係数	未定
・ 粘度	粘度性： 未定 動粘度性： 未定
・ 固形分	6.4%
・ 爆発物	含まれない
・ 燃焼ガス	含まれない
・ エアゾール	含まれない
・ 酸化ガス	含まれない
・ 加圧ガス	含まれない
・ 引火性液体	含まれない
・ 引火性固体	含まれない
・ 自己反応性物質と混合物質	含まれない
・ 自然発火性液体	含まれない
・ 自然発火性固体	含まれない

- | | |
|----------------------------|-------|
| ・ 自然加熱性物質と混合物質 | 含まれない |
| ・ 水との接触により引火性限界値のある物質と混合物質 | 含まれない |
| ・ 酸化性液体 | 含まれない |
| ・ 酸化性固体 | 含まれない |
| ・ 有機過酸化物 | 含まれない |
| ・ 金属腐食性物質 | 含まれない |
| ・ 鈍性化爆発物質 | 含まれない |

9-2 その他の情報 関連情報はない。

1 0 : 安定性および反応性

10-1 反応性

関連情報はない。

10-2 化学的安定性

通常の条件下では安定である。

10-3 危険な反応の可能性

関連情報はない。

10-4 危険有害な分解生成物

関連情報はない。

10-5 混触危険物質

関連情報はない。

10-6 危険有害性分解性生物

関連情報はない。

1 1 : 有害性情報

11-1 毒性学的影響に関する情報

- ・ 急性毒性：これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

- ・ LD / LC50 分類に関連した値：

ATE (急性毒性推定値)

経口	LD50	65,398 mg / kg (ラット)
----	------	----------------------

136210-30-5 tetraethyl-N,N'-(methylenedi cyclohexyl-4,1-diyl)bis-DL-aspartate

経口	LD50	>2,000 mg / kg (ラット) (Richtlinie 67/548/EWG, Anhang V,B.1.)
経皮	LD50	>2,000 mg / kg (ラット) (Richtlinie 67/548/EWG, Anhang V,B.3.)
吸入	LC50 / 4h	>4,224 mg / m ³ (ラット) (OECD-Prüfrichtlinie 403)

623-91-6 フマル酸ジメチル		
経口	LD50	1,780 mg / kg (ラット)
104810-47-1 poly(oxy-1,2-ethanediyl),a-[3-[3-(2H-benzotriazol-2-yl)-5-(1,1-dimethylethyl)-4-hydroxyphenyl]-1-oxopropyl]-ω-[3-[3-(2H-benzotriazol-2-yl)-5-(1,1-dimethylethyl)-4-hydroxyphenyl]-1-oxopropoxy]-		
経口	LD50	>5,000 mg / kg (ラット)(OECD401)
経皮	LD50	>2,000 mg / kg (ラット)(OECD402)
1065336-91-5 Reaction mass of bis(1,2,2,6,6-Pentamethyl-piperidyl)sebacate and methyl 1,2,2,6,6-pentamethyl-4-piperidyl sebacate		
経口	LD50	3,230 mg / kg (ラット)
経皮	LD50	>3,170 mg / kg (ラット)

- ・ 皮膚腐食性及び皮膚刺激性
データなしのため呼吸器感作性一分類できないとした。
- ・ 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性
重度の眼への刺激を引き起こす。
- ・ 呼吸器感作性又は皮膚感作性
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれがある。
- ・ CMR 効果（発がん性、変異原性および生殖毒性）
データなしのため一分類できないとした。
- ・ 生殖細胞変異原性
データなしのため一分類できないとした。
- ・ 発がん性
データなしのため一分類できないとした。
- ・ 生殖毒性
データなしのため一分類できないとした。
- ・ 特定標的臓器毒性（単回ばく露）
データなしのため一分類できないとした。
- ・ 特定標的臓器毒性（反復ばく露）
データなしのため一分類できないとした。
- ・ 吸引性呼吸器有害性
データなしのため一分類できないとした。

1 2 : 生態学的情報

12-1 毒性

・ 水生生物毒性 :

136210-30-5 tetraethyl-N,N'-(methylenedi cyclohexyl-4,1-diyl)bis-DL-aspartate

EC50	3,110 mg / l (BES)(ISO Vorschrift 8192-1986 E)
IC50 / 72h	113 mg / l (イカダモ)(Richtlinie 67/548/EWG, Anhang V, C.3.)
EC50 / 48h	88.6 mg / l (ミジンコ)(UBA-Verfahrensvorschlag Mai 1984)
ErC50 / 72h	113 mg / l (イカダモ)
NOEC	100 mg / kg (Ac)(OECD 208) 100 mg / kg (Ac)(OECD 208) 100 mg / kg (Bn)(OECD 208) ≥1,000 mg / kg (シマミミズ)(Regenwürmer) (OECD-Prüfrichtlinie 207)
NOEC / 21d	0.01 mg / l (ミジンコ)(Richtlinie 67/548/EWG, Anhang V, C.20.)
LC50 / 96h	66mg / l (ゼブラフィッシュ)(OECD 203)

104810-47-1 poly(oxy-1,2-ethanediyl),a-[3-[3-(2H-benzotriazol-2-yl)-5-(1,1-dimethylethyl)-4-hydroxyphenyl]-1-oxopropyl]-ω-[3-[3-(2H-benzotriazol-2-yl)-5-(1,1-dimethylethyl)-4-hydroxyphenyl]-1-oxopropoxy]-

EC50	>1,000 mg / l (BES)
EC50 / 48h	4 mg / l (ミジンコ)
LC0	>1,000 mg/l (シマミミズ (Regenwürmer))
NOEC	100 mg/kg (シマミミズ (Regenwürmer))
NOEC / 21d	0.78 mg/l (ミジンコ)
EC10	10 mg/l (ミカツキモ)
EC50 / 72h	>100 mg/l (ミカツキモ)
LC50 / 96h	2.8 mg / l (ニジマス)

Reaction mass of bis(1,2,2,6,6-Pentamethyl-piperidyl)sebacate and methyl 1,2,2,6,6-pentamethyl-4-piperidyl sebacate

EC50 / 24h	20 mg / l (ミジンコ)
EC20 / 3h	>100 mg / l (BES)
LL0 / 96h	0.9 mg / l (ゼブラフィッシュ)
NOEC / 21d	1 mg / l (ミジンコ)
EC50 / 72h	1.68 mg / l (デスマデスマス属 セネデスマス科 藻類)
LC50 / 96h	0.9 mg / l (ゼブラフィッシュ) 7.9 mg / l (ニジマス)

12-2 持続性及び分解性

生分解しにくい。

12-3 生物蓄積性

生物に重要な蓄積はない。

12-4 土壌中の移動

関連情報はない。

- ・ 追加の生態学的情報：
- ・ 一般的な注意事項：

製品を地下水や水路に入らないようにすること。

魚やプランクトン等の水生生物に有毒。

水危険性クラス1（ドイツ規制）（自己評価）：水に対してやや危険

12-5 PBT および vPvB 評価の結果

- ・ PBT：適応なし
- ・ vPvB：適応なし

12-6 その他の悪影響

関連情報はない。

1 3：廃棄上の注意

13-1 残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

- ・ 汚染容器及び包装
空容器類を破棄するときは、内容物を完全に除去した後に産業廃棄物として処理又は回収にまわす。

1 4：輸送上の注意

14-1 国際規制

- ・ 海上規制情報
該当なし

14-2 国連番号

該当なし

14-3 容器等級

該当なし

14-4 海洋汚染物質

適応なし

- ・ 国内規制

14-5 特別の安全対策

「7.取扱い及び保管上の注意」の記載に従うこと。

容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にすること。

- ・ 海上輸送
船舶安全法の規定に従うこと。
30L以下であれば硬化剤なしでも危険品の扱いにはならない。
- ・ 航空輸送
航空法の規定に従う。

1 5：適用法令

15-1 物質の安全性、健康及び環境に関する規制／法律

- ・ 消防法
該当なし
- ・ 毒劇物取締法
該当なし
- ・ 使用において、都道府県条例に該当の場合、条例にもとづき取り扱うこと。

1 6：その他の情報

この情報は現在の知識に基づいています。ただし、特定の製品機能の保証を構成するものではなく、法的に有効な契約上の関係を確立するものではありません。

- ・ 関連フレーズ
 - H302 飲み込むと有害
 - H315 皮膚刺激
 - H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
 - H318 重篤な眼の損傷
 - H335 呼吸器への刺激のおそれ
 - H361f 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
 - H400 水性生物に非常に強い毒性
 - H410 長期的影響により水性生物に非常に強い毒性
 - H411 長期的影響により水性生物に毒性
 - H412 長期的影響により水生生物に有害
- ・ 推奨使用制限
テクニカルデータシート（TDS）を参照してください。
- ・ SDS 発行部門：
研究室
- ・ 連絡先：
Dieter Zimmermann
- ・ 略語と頭字語：

RID	国境を越えた国際的な輸送は、鉄道による危険物の国際輸送に関する規則（Regulations on Rail）
ICAO	国際民間航空機関
ADR	欧州連合（EU）に関する欧州合意 道路による危険物の運送

IMDG	危険物に関する国際海上コード
IATA	国際航空運送協会
GHS	化学品の危険有害性
EINECS	既存の商業化学物質の欧州インベントリ
ELINCS	通知された化学物質の欧州リスト
CAS	ケミカルアブストラクトサービス(アメリカ化学協会の部門)
DNEL	導出無毒性量 (REACH)
PNEC	予測無影響濃度 (REACH)
LC50	致死濃度 50%
LD50	致死量 50%
PBT	難分解性化学物質 (持続的な生物蓄積毒性)
SVHC	高懸念物質
vPvB	極難分解性有害物質
NIOSH	労働安全衛生総合研究所
OSHA	労働安全衛生
Acute Tox.4	急性毒性 カテゴリー 4
Skin Irrit.2	皮膚腐食性/刺激 カテゴリー 2
Eye Dam.1	重大な眼の損傷/眼刺激性 カテゴリー 1
Eye Irrit.2	重大な眼の損傷/眼刺激性 カテゴリー 2
Skin Sens.1	皮膚感作性 カテゴリー 1
Skin Sens.1A	皮膚感作性 カテゴリー 1A
Repr.2	生殖毒性 カテゴリー 2
STOT SE 3	特定標的臓器に対する毒性 (一回暴露) カテゴリー 3
Aquatic Acute 1	水生環境有害性 (急性、慢性) /急性水生毒性 カテゴリー 1
Aquatic Chronic 1	水生環境有害性 (急性、慢性) /慢性水生毒性 カテゴリー 1
Aquatic Chronic 2	水生環境有害性 (急性、慢性) /慢性水生毒性 カテゴリー 2
Aquatic Chronic 3	水生環境有害性 (急性、慢性) /慢性水生毒性 カテゴリー 3

- ・ 本記載内容は現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改定される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。